

高 下関北高校だより

(令和4年6月20日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地
TEL(083)782-0023 FAX(083)782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。
<http://www.shimonosekikita-h.ysh21.jp>

■ 地域探究Ⅰ・Ⅱを実施しました。

4月14日(木)に令和4年度の「地域探究」の授業がスタートしました。

担当の先生から「なぜ地域探究という授業をするのか。なぜ地域探究の授業は重要なのか。」の説明がありました。社会に出て働くとき、自分の出身地やルーツを知っておくことが必要であることを感じ、はじめて授業を受けた生徒のみなさんも、「地域探究」の目的が徐々にわかってきたようです。この授業では5つのコース(歴史・伝統:文化・文芸、観光・産業、環境・自然、安全・防災、保育・福祉)から一つ選び、地域を知り、そして地域の今後の在り方まで考えます。本年度は歴史・伝統と文化・文芸の2つのコース内容が重なる部分が多いということで、1つのコースに統合しています。



全体説明の後、今年度のコース選択を前に、3年生がパワーポイントや大判用紙を利用して、昨年度の各コースの取組や成果を大変わかりやすく発表してくれました。柔軟な発想と行動力で地域の中で新たな発見と学びを得てもらいたいと思います。



■ 離任式を実施しました。

4月15日(金)に令和3年度末人事異動により離任される先生方とのお別れの会を実施しました。

今年度は、10名の先生方を本校からお送りしました。離任式では、校長先生から、離任される先生方を紹介していただいた後、御出席くださった7名の先生から、それぞれお別れの言葉をいただきました。「心が折れそうになっていた時に、ある生徒の挨拶に助けられました。皆さんの挨拶には力があります。」「辛いことがあっても頑張っている、その足音を聞いてくれる人が必ずいます。」「皆さんの周りには、たくさんの助けてくれる人がいます。」「懐かしくて帰ってきたなという思いです。13年間という長い間、北高で過ごせて幸せでした。」「みなさんのことが大好きです。定年を迎えて皆さんは私の宝です。夢です。」「人は『誰かを愛する』、そのために生きているのではないかなと思っています。いつか出会う愛すべきその人を一生支えるために、いろいろなことを勉強して自分を磨いてください。」「人生の80年、90年を野球に例えると皆さんは2回裏ぐらいでしょうか。まだまだ序盤です。今からいろいろなところでチャンスを掴んでもらいたい。」「など心温まる言葉をいただきました。



生徒会副会長の山田愛弓さんから離任される先生方への感謝の言葉の後、生徒会執行部から花束を贈呈し、応援団のエールと下関北高校の校歌でお送りしました。

離任される先生方の言葉を胸に、一致団結して北高をますます盛り上げていこうと思います。

■ 地域探究Ⅰ・Ⅱで「SDGs」について学びました。

地域探究Ⅰ・Ⅱでは、今年度は①歴史・伝統:文化・文芸、②観光・産業、③環境・自然、④安全・防災、⑤保育・福祉の5つのコースに分かれ、各コース7人程度の少人数で活動していきます。

各コースでの探究活動を始めるに当たって、4月21日(木)に、各コースの共通のテーマとする「SDGs(持続可能な開発目標)」について、講義と調べ学習・発表を行いました。

講義では、高校生の自分たちが普段行っている活動が、「誰ひとり取り残さない」をキーワードとした「SDGs」の達成につながっていくということを学習し地域探究を行う意味を再確認しました。2・3年生混合の6人で行ったグループ学習では「SDGs」で行われている取組を調べ、発表しました。17項目ある「SDGs」の目標や山口県で行われている取組などグループごとに違った着眼点で資料をまとめ、発表していました。

5月下旬から、各コースに分かれてテーマを設定し、グループ学習やフィールドワークを通して、地域の課題を体験的に理解するとともに、課題解決に向けた方策について探究していきますが「SDGs」の項目の何番に貢献しているのかという意識をもって、第一歩を踏み出してほしいと考えています。



■ 進路講話・面接ガイダンスを実施しました。

4月26日(火)に、大原簿記公務員専門学校から森正登(まさと)先生をお招きし、5時限に2年生、7時限に1年生を対象に進路講話を、6時限に3年生を対象に面接ガイダンスを実施しました。

1・2年生への進路講話では、様々なデータをもとに最近の高校生の傾向を示しながら、何を考えるべきかについて、お話をいただきました。その中で、挨拶は相手の反応を推し量るもの、コミュニケーションは意思や感情、思考などの情報を伝達してお互いを分かりあうこと、聞くことの大事さ等について話されました。日々の生活の中でどのように過ごすかが、1年後、2年後の高校卒業時の進路に繋がっていることをご指導いただきました。



また、3年生対象の面接ガイダンスでは、最近の進学や就職時における面接事項やマナーに関する基礎的内容について説明をいただきました。コロナ禍の中、面接ではマスクをしている場合が多く、表情を目元でしか表現できない難しさと対処方法について話がありました。そして、人が受ける印象の割合は、見た目からの印象が55%、声からの印象は38%、話の内容からの印象は7%というメラビアンの法則について話を伺い、面接の決め手は最初の3分、第一印象が大切なことを確認し、高校生として相応しい立ち振る舞いについてご指導いただきました。

■ 「谷本誠一郎君 大相撲5月場所 初土俵で白星発進」

この春に本校を卒業した相撲部の谷本誠一郎君が日本相撲協会、境川部屋に入門し、境川親方(元両国関)と山科親方(元豊響関)の御指導の下、日々稽古に励んでいます。四股名は「大錦龍(だいきんりゅう)」に決まり、序の口九枚目からのスタートとなりました。

5月8日(日)から5月22日(日)までの日程で両国国技館を会場として行われる大相撲5月場所で大相撲初土俵を踏むこととなりました。5月9日(月)5月場所2日目に田子ノ浦部屋の山田と対戦し「押し出し」で見事初白星をあげました。「初土俵は緊張しましたが、立ち合いに集中して自分の相撲が取れました。この後も勝敗に一喜一憂せず、目の前の一番に全力を尽くしたいと思います。」と初土俵後にこれからの抱負を語りました。

5月場所では7番相撲を取り、4勝3敗で勝ち越しました。来場所は番付がさらに上がることになりました。

全校あげて、大錦龍(谷本君)が十両昇進、関取になれるよう、これからも応援していきます。



■ P T A 総会・情報モラル研修会

1学期中間考査期間中の日曜日、5月15日にP T A・教育後援会総会を開催しました。

本校では、少しでも多くの保護者の方に参加していただけるよう、例年、日曜日にP T A・教育後援会総会を開催しています。新型コロナウイルス感染症対策を保護者の方にもご協力していただき実施しました。

総会では、令和3年度のP T A関連事業の報告、会計決算の報告及び監査報告が行われた後、令和4年度のP T A役員案として、会長：小畔利幸様、副会長：渡邊佳祐様、上野義文様、監査：宗村元彦様、吉田典史様の案が提出され、承認されました。



また、令和4年度の事業計画、P T A会計、教育後援会会計、特別活動振興金の予算案が承認されるとともに、学校の近況報告を行いました。

また、P T A・教育後援会総会后に保護者対象の情報モラル講演会を実施し、テーマは、「スマホの使用の責任者は誰?」。講師は、東亜大学の保田裕彦先生でした。

ご講演では、インターネット上に一端公開された情報は容易には回収されないこと、不用意な投稿がその後の人生を左右しかねないことなどを、いくつかの動画を紹介され、分かりやすくお話いただきました。

保護者や教員にとっても、普段のインターネットやスマホとの関わり方を見直すよい機会となりました。保田先生、貴重なお話をありがとうございました。

